

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	112	事業名	青森ねぶた祭り参加経費		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	ツインシティ交流事業費		中事項	青森ねぶた祭り参加経費		部課名	観光部ブランド推進課
事業開始年度	平成 1 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等()		電話番号	21-3396	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 昭和63年の青函トンネル開通を契機として、両市が経済、観光等幅広い分野にわたる積極的な交流を行うことにより、地域の活性化と一体的な発展を図るため、平成元年に「ツインシティ(双子都市)」提携の盟約を締結した。当該事業は、青函ツインシティ交流の一環であり、両市のまつりへ市民を相互に派遣することにより、両市民の交流をの一層の推進を図ることを目的としている。
	【必要性】 2015年度末の北海道新幹線の開業により、さらに両市の繋がりが深まり、これまで以上に青函圏として交流の促進と観光をはじめとする各分野での連携が重要になるため、広域観光の推進を図るためにも、当該事業は必要であると考えます。
内容	隔年で、「函館港まつり」で「青森ねぶた」が運行し跳入として函館市民が参加、また、「青森ねぶた祭り」に函館市民と青森市民とが「函館いか踊り」で参加している。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		0	3,138	0	0	3,100	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源			3,138			3,100	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.00 0	人工 0.16 1,201	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.16 1,166	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	0	1,201	0	0	1,166	0
総事業費計(A+B)		0	4,339	0	0	4,266	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市民参加者数	人		66		
青森ねぶた観覧数(8/2~7)	千人		3,000		

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はないが、当該事業への参加者数や青森ねぶた祭の観覧者数の増加により、一層成果が上がる。
------	---

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	300万人の集客がある青森ねぶたまつりで交流事業を行うことにより、効果的に青函の交流や当市のPRを行うことができる。また、新幹線の開業を見据え、青函連携の取り組みは、行政から各団体や民間企業へと拡大しており、注目されている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	新幹線の開業への市民の関心が高まるなか、広域観光の推進を図るうえで、また、青函ツインシティ交流事業でもあることから、市の関与が妥当であると考えられる。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	現行の事業では、コストの軽減が充分図られている。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在と変わらない	
			受益者負担の適正度		評価対象外		
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	継続的な交流事業の実施や、300万人の集客がねぶた祭りでの当市のPRにより成果は達成されている。	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	参加者の派遣に係る旅行に関する一切の業務について、外部委託を行っている。
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる			実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など		特になし					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について)
	現行どおり	(経費について)

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--